

# 袖ヶ浦周辺の「鎌倉街道」と源頼朝伝説を訪ねて

治承4年（1180）石橋山の戦いで敗れた源頼朝が安房に上陸後、再起をかけて軍勢を集めながら北上した際に通ったとされる「鎌倉街道上総道」。袖ヶ浦市内には、他にも鎌倉街道と呼ばれた道や地名、源頼朝にまつわる伝説が多く残っています。

地域でかまくら街道と呼ばれている道です。里山を歩く会の皆さんの手で整備されています

「かまくら街道」と周辺の道  
正福寺  
久保田八幡神社  
案内板

頼朝の軍勢がここまで来たが、湿地のため渡れず、回り道をしたことから、ついたという地名

「切替」伝説  
源頼朝が滞在した長右衛門の家を立つ時に、竹を切らせて旗竿の取替を命じたことから「切替」の姓を与えたというお話があります。

頼朝が築かせ、この上から閲兵したという小さな塚が残っています。

飯富の飽富神社は源頼朝が休憩し、戦勝祈願をしたという伝説があります。飯富には源氏の白旗にちなんだ東白幡・西白幡という地名が残ります。

敷の中に「八幡宮」の石祠があります。頼朝が休憩し、戦勝祈願をしたとの言い伝えが残る場所です。

館山自動車道路の工事に伴って発掘調査がされた山谷遺跡からは、中世の道路や市のような跡が見つかっています。

そではく  
鎌倉街道橋  
道標

鎌倉街道上総道  
(文化庁歴史の道百選)

久留里道中往還

下新田の八幡神社には、源頼朝が一泊して戦勝祈願したという伝説があります。その夜、夢に神が現れて東に行くように勧められたのでその通りにしたところ、軍勢も増え、戦いにも勝利したというお話です。下新田には、頼朝の世話をしたので苗字をもらった、頼朝が休んでいた塚（飯籠塚：えごつか ※現存せず）白羽の地名、白旗塚など、頼朝伝説が多く残っています。

源頼朝の軍勢が、ここで1万騎になったので、万騎坂。ここは、久留里道中往還の一部で、馬ノ坂（マンザカ）と呼ばれ、坂の上には馬坂台（マンザカダイ）坂の下は馬坂下（マンザカシタ）という地名が残っています。

木更津市の矢野熊野神社には、源頼朝が木影の獅子を奉納したという伝説があり、同じ矢野の高蔵寺も、頼朝が先勝祈願をした伝説があります。

木更津市中島田には、「北八かまくら道」の道標があります。

高谷の延命寺前へ続きます。